

第 17 回 全国大会・研究発表大会 ベストポスター賞 受賞記

青山学院大学 福田瑠南

この度はベストポスター賞を授かりましたこと、大変光栄に存じます。これまで私の研究を支えてくださった松澤先生をはじめ、論文・発表の査読や選考に携わっていただいた先生方や、学会にいらした皆様に心から感謝申し上げます。

今回発表させていただいた「キーボード教育教材「キーボード体操」と測定結果「指使い表」の実証実験」は、キーボード教育教材の有用性を調査するために、測定方法と分析方法を 1 から考えて実際の教育現場で実施した研究です。

タイピング時の指使いを動画で撮影して手作業で分析するという先行研究は無く、動画撮影の仕方や結果の提示の仕方など全て手探りだったためとても苦労しました。

情報化社会が進む現代においてコンピュータは必要不可欠なものであり、それに伴い打鍵速度が重要なスキルとなっています。そして速度を上げるにはタッチタイピングを習得すべきであると考えています。今回の発表において「正しい指使いでなくても打鍵速度が速い人はいるのでは」という意見をいただきました。世の中にはタッチタイピングでなくても速い人はいますが、私はタッチタイピングが打鍵速度を速くする最重要のスキルであると主張します。そしてタッチタイピング習得のためのタイピング教材の更なる発展に向け、研究に取り組んでいきたいと思います。

最後に本研究にご協力いただいた青山学院大学社会情報学部の皆様に心より感謝致します。以上を持ちまして本受賞記を締めくくらせていただきます。